

リ ニ モ

わたしたちの

The Linimo in our town

特集

平成17年(2005年)3月に開業したリニモによって、市域の東西に公共交通の基盤軸が形成され、リニモを軸としたまちづくりが進展し始めました。市内の移動を補完する民間バスやNバスによって新たなバス路線網も形成されました。リニモは今では年間約750万人が利用する名古屋市東部の重要な基幹路線となっています。

経営状況を見ていくと、平成17年の愛・地球博閉幕後は苦戦を強いられてきましたが、人口増加や活性化事業の成果もあり、利用者は順調に伸び続け、平成27年度に営業損益が初めて黒字となりました。

また、リニモ沿線の開発を行い、長久手古戦場駅、公園西駅では、新たに魅力的なまちづくりが始まっています。

今日、リニモはまちづくりの基軸となっており、“長久手ブランド”の向上に大きく寄与しています。今回は、長久手市の重要な公共交通であるリニモについて特集します。

